

令和3年定例会 3月特別議会  
産業建設常任委員会調査報告書

令和3年3月26日

産業建設常任委員会

# 産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和3年2月1日～令和3年3月25日

日時	活動区分	内 容	頁
2. 1 (月) 12:05～12:25	協 議	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月定期議会中における調査事項について</li> <li>■ 予算審査特別委員会における委員長の選任について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員7名	—
2. 3 (水) 10:00～15:03	所管事務調査① (議案調査)	《産業経済部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登米市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について</li> <li>■ 一般会計補正予算について</li> </ul> 《建設部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一般会計補正予算について</li> <li>■ 登米市都市公園条例の一部改正について</li> <li>■ 市道認定・廃止について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員6名 産業経済部 阿部部長ほか7名 建設部 千葉部長ほか6名	—
2. 22 (月) 10:00～15:58	所管事務調査② (議案調査)	《農業委員会事務局》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和3年度当初予算及び主要事業について</li> </ul> 《建設部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和3年度当初予算及び主要事業について</li> <li>■ 立地適正化計画の進捗状況について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員7名 農業委員会事務局 田辺局長ほか1名 建設部 千葉部長ほか6名	—
2. 25 (木) 10:10～15:08	所管事務調査③ (議案調査)	《産業経済部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和3年度当初予算及び主要事業について</li> <li>■ 登米市商工観光振興計画見直しの概要について</li> <li>■ 地域資源を活用した再生可能エネルギー設備導入事業について</li> <li>■ 道の駅津山もくもくランド災害復旧事業について</li> <li>■ 登米市もくもくランド条例について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員7名 産業経済部 阿部部長ほか8名 総務部 小野寺次長 建設部住宅都市整備課長 千葉課長	—

日時	活動区分	内 容	頁
2.25(木) 15:15~15:45	協 議	<ul style="list-style-type: none"> <li>■意見交換会・意見公募の意見整理</li> <li>■委員会報告について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 7名	—
3.3(水) 15:06~16:30	所管事務調査④ (議案調査)	《産業経済部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■地域資源を活用した再生可能エネルギー設備導入事業について</li> <li>■道の駅津山もくもくランド災害復旧事業について</li> <li>■「イオンモール利府店南館」への登米市産材F S C認証材提供について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6名 産業経済部 阿部部長ほか 5名 総務部 小野寺次長 建設部住宅都市整備課長 千葉課長	—
3.24(水) 9:15~14:40	所管事務調査⑤ (現地調査)	(現地調査) <ul style="list-style-type: none"> <li>■指定廃棄物(汚染稲わら)保管状況について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6名 産業経済部 阿部部長ほか 6名	4
	所管事務調査⑥ (議案調査)	《産業経済部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和2年度予算について</li> <li>■令和3年度予算について</li> </ul> 《農業委員会事務局》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和2年度予算について</li> </ul> 《建設部》 <ul style="list-style-type: none"> <li>■令和2年度予算について</li> <li>■令和3年度予算について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6名 産業経済部 阿部部長ほか 6名 農業委員会事務局 田辺局長ほか 1名 建設部 千葉部長ほか 6名 まちづくり推進部 まちづくり推進課 遠藤課長	—
	協 議	<ul style="list-style-type: none"> <li>■委員会報告について</li> </ul> 〔出席者〕 氏家委員長ほか委員 6名	—

## 産業建設常任委員会 活動概要

### 【所管事務調査⑤】

1. 期 間：令和3年3月24日(水) 午前9時15分～午前9時45分
2. 場 所：石越浄化センター内
3. 事 件：(現地調査)  
「指定廃棄物（汚染稲わら）保管状況について」  
石越浄化センター敷地内
4. 出 席 者：委員長 氏家英人、副委員長 熊谷和弘  
委 員 上野晃、關孝、浅田修、相澤吉悦、及川長太郎  
  
(建 設 部) 産業経済部長 阿部孝弘、産業経済部次長 遠藤亨、  
農政課長 高橋紀元、農政課主幹 高橋裕、  
農政課主事 鈴木大輔、農政課主事 三浦翼、  
産業総務課課長補佐 衣川智博  
  
(議会事務局) 局長補佐兼係長 千葉敬子
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

## ■指定廃棄物（汚染稲わら）保管状況について

### ○概要

福島第一原子力発電所事故に起因する指定廃棄物（汚染稲わら）は、放射性物質汚染対処特措法に基づき、国による最終処分がされるまでの間、市では定期的な空間放射線量の測定や除草等を行うとともに、一時保管庫や遮蔽用土嚢の修繕等を行っている。

福島第一原子力発電所事故発生から10年が経過。市内では2,235 tの指定廃棄物（汚染稲わら）を一時保管している。その保管状況を把握し、今後必要な方策を検討する。

### （現地調査）



石越浄化センター敷地内の保管庫と遮蔽用土嚢



指定廃棄物の一時保管状況の説明を受ける



保管庫周辺の状況確認



保管庫内部の状況



保管庫内部の確認

### ○所見

現在、市内において一時保管している指定廃棄物は全体で2,235 tであり、24ヶ所に分散保管されている。そのうち、409 tが集積保管され、8年が経過している石越浄化センターの現状を現地調査した。

保管庫空間放射線量は減じてはいるものの、パイプハウス内に積み上げられたロール状の指定廃棄物は崩れや変形、ネズミなどの小動物侵入の形跡も見られた。また、臭いもきついことから腐食もかなり進んでいることは想像に難くない。

管理経費については国が全額負担をしているが、そもそも国が言う一時保管期限は「2年間」だったはずだ。10年を超える保管は決して一時保管と言える状況ではないと言える。

当委員会としても、このまま黙って見過ごしておくのではなく、安心して安全な指定廃棄物の最終処分について、積極的に国への働きかけを強めるとともに、次期の産業建設常任委員会への重要な引継事項としたい。

## ○今期委員会のふりかえり

当委員会では、登米市の『地域経済産業振興』と『農業振興』を活動テーマと定め、委員会活動を行ってきた。今期は、東日本台風の被害や新型コロナウイルス感染症の影響により、地域が先行きの見えない不安や閉塞感を抱えた状態が続いている中での調査となった。

地域経済を活性化することは、市民の生活や地域の活力に直結する。生活を支える基盤や経済活動を支える基盤をしっかりと持続されるために、委員会として各種施策の調査を行い、地域の声を聞きながら、地域が元気になる提案や提言を行って行く必要がある。

下記事項について、次期委員会でも調査・検討がなされるよう期待する。

## 《引継事項》

### ①新型コロナウイルス感染症に伴う各種支援策の検証

令和2年度において、新型コロナウイルス感染症に伴う商工農業分野への様々な支援策が実施された。市内事業者や農業者のアンケート等の意見を基に、国や県の経済対策の対象とならない市内事業者等を対象とした市独自支援が行われ、経済活動の維持が図られたと認識している。

今後は、新型コロナウイルスによるニューノーマルな経済活動や消費行動に対応した経済支援や産業振興が求められると考える。これまでの事業を支える支援策から、一步踏み出し、次の行動につなげる支援に変化していく時期でもある。商工農業におけるこれまでの各種支援策を検証し、効果的で持続可能な支援策を調査されたい。

### ②道の駅もくもくランド整備の進捗把握

道の駅もくもくランドの災害復旧事業が進められており、木質バイオマス発電設備事業も本格整備が始まる。令和元年東日本台風の被害からの復旧が待たれる一方、もくもくランド全体の利活用方法が課題となっている。

今後、「木」にこだわった道の駅や滞在体験型の施設づくりと、災害や事故等のリスク管理も含めた活性化対策を盛り込んだ将来構想を策定するとし、東北工業大学や地域と全体構想を練り上げる作業が始まる。復旧作業の進捗の把握と併せ、道の駅を核に地域の拠点や賑わいの創出について調査されたい。

### ③立地適正化計画の進捗把握

人口減少・少子高齢化を背景に、コンパクトなまちづくりの形成を促進し、生活サービス機能を計画的に誘導していくために、おおむね20年後の都市の姿を展望し

て立地適正化計画の策定が進められている。居住や都市機能の誘導区域の設定に加え、それら区域の防災・減災対策を計画に盛り込み、令和3年度末の完成を目指している。20年後の登米市に向かって、どんなまちづくりを進めるのか、立地適正化計画の策定状況の進捗と適切な防災対策の確認を調査されたい。

また、この計画は中心拠点施設の再編との関わりが大きく、中心市街地にどんな機能（施設）を再編し、地域拠点をどう維持整備するのか、市民も議会も大きな関心を寄せている。中心拠点施設の再編については、公共施設、公共交通、道路、医療や教育など様々な分野の機能について同時に検討されることになる。立地適正化計画と併せ、市民の意見を取り入れながら、議会と執行部で話し合いを重ね、本市のシンボルの方向性を見出していくことが望ましい。

#### **④放射能汚染廃棄物処理状況の進捗把握**

福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会から、農林業系廃棄物の処理の進捗に関する調査を引き継いだ。市民生活の不安を払しょくし、登米市産農産物の安全性を高めるためには継続した検証が必要である。

農林業系廃棄物の令和13年度までの全量処理完了に向け、安全に着実に処理が進められるよう、当委員会でも進捗を把握しながら市民へその状況を周知されたい。

併せて、一時保管期間が10年を超える指定廃棄物についても、早期の最終処分の道筋を求め国に働きかけを継続されたい。

#### **⑤産業を担う世代・団体の意見を聞く機会の創出**

毎年、各種団体との意見交換を行い、市内産業の現状や要望等を把握してきた。登米市産業振興会や登米市振興協同組合等は、地域の産業を第一線でけん引する事業者等であり、その意見は大変参考となる。

登米総合産業高等学校と意見交換を2回行った。大人が考える仕事観や生活観とは異なった斬新で柔軟な意見に触れ、若者が必要としている雇用や生活環境の課題が見えて来る。高校卒業後は地域で活躍する生徒が多く、将来の登米市を担う人材が育つ産業高等学校との意見交換は、若者の意見をダイレクトに聞ける機会であるので、今後も継続されるよう望む。併せて、社会の一員として積極的にまちづくりに関わる意識を形成するシチズンシップ教育や主権者教育に、議会として関わりを持ち続けられたい。